

## 平成24年第4回板倉町議会定例会

議事日程（第3号）

平成24年12月17日（月）午後1時30分開議

日程第 1 閉会中の継続調査・審査について

---

○出席議員（12名）

1番	森田義昭君	2番	今村好市君
3番	荒井英世君	4番	川野辺達也君
5番	延山宗一君	6番	小森谷幸雄君
7番	黒野一郎君	8番	市川初江さん
9番	青木秀夫君	10番	秋山豊子さん
11番	荻野美友君	12番	野中嘉之君

○欠席議員（なし）

---

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	栗原実君
教育長	鈴木実君
総務課長	田口茂君
企画財政課長	中里重義君
戸籍税務課長	長谷川健一君
環境水道課長	鈴木渡君
福祉課長	永井政由君
健康介護課長	小嶋栄君
産業振興課長	山口秀雄君
都市建設課長	小野田国雄君
会計管理者	荒井利和君
教育委員会 事務局長	根岸一仁君
農業委員会 事務局長	山口秀雄君

---

○職務のため出席した者の職氏名

事務局長	小野田吉一
庶務議事係長	伊藤泰年

行政安全係長兼  
議事事務局書記

根 岸 光 男

開 議 (午後 1時30分)

○開議の宣告

○議長(野中嘉之君) 皆さん、こんにちは。

本日は今定例会の最終日です。直ちに本日の会議を開きます。

これより日程に従いまして議事を進めます。

---

○閉会中の継続調査・審査について

○議長(野中嘉之君) 日程第1、閉会中の継続調査・審査についてを議題といたします。

各常任委員会委員長及び議会運営委員会委員長から、会議規則第73条の規定により、お手元に配付いたしましたとおり閉会中の継続調査・審査申出書が提出されております。

お諮りいたします。各委員長の申し出のとおり閉会中の継続調査・審査に付することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と言う人あり]

○議長(野中嘉之君) 異議なしと認め、各委員長の申し出のとおり閉会中の継続調査・審査に付することに決定いたしました。

---

○町長挨拶

○議長(野中嘉之君) 以上で今定例会に付議された案件は全て終了いたしました。

ここで町長より発言を求められておりますので、これを許します。

町長、栗原実君。

[町長(栗原 実君)登壇]

○町長(栗原 実君) こんにちは。昨晚の選挙でしたが、大変夜遅くまでということでお疲れの中ご苦労さまでございます。

12月11日から17日と本日までの7日間にわたりまして、議員各位には慎重な審議をいただきまして、全議案原案どおり可決をいただきました。特に来年1月18日任期満了を迎える教育委員2名の任命につきまして、この4年間特別職として私の右腕となって教育行政に携わっていただいた教育長、鈴木実君の一身上の都合での辞意を受けての任命もあったわけでありまして、ご同意をいただいたこと、お礼を申し上げたいと思います。

一般会計での補正予算では、昨日行われた衆議院議員選挙に関する補正が主でございましたが、今回の衆議院選、国の予算は約600億円と言われているようでありまして、その一部がさきの補正予算ということでもあるわけがございます。半端でない予算を投入しての衆議院選、事前の予測どおり自民党の圧勝で終わりました。マスコミ各紙の報道を見ますと、民主党の自滅に加え、多党乱立による争点ぼけの結果であり、直前まで支持政党を決められない有権者層の割合が、圧勝を予定されていた自民党支持率よりも多いという現象が投票日直前まで推移し、結果として投票率の低下にも大きく作用したようでございます。

加えて本質的な議論が最も必要とされたこの総選挙において、領土問題を抱える外交、そのことに関する国の自衛隊のあり方等が争点とされた国防、あるいは企業の空洞化や円高、TPPが複雑に絡んだ経済問題、

また原発廃止の方向性や代替エネルギーといいたまうか、電力の具体化がどう議論されるのかというエネルギー問題、あるいは少子高齢化に伴う負担とサービスを含む福祉と社会保障の問題、さらには不況脱出のための補正予算の規模をどの程度にするか、あるいは金利の誘導による景気回復をどうするかという、そういった問題。そして、何より1票の格差や定数削減の憲法違反とも言われかねない選挙制度の今回の問題、加えていじめや学力低下の問題等を含む教育改革問題等々、全て今の日本の行き詰まった現象に対する具体的な論議がなされないまま、スローガン選挙と抽象選挙に終わったのは残念な結果との論評は的を射たものだと同感しているところでもございます。

選挙結果を踏まえ、絶対多数あるいは3分の2という非常に超安定をした連立政権も予定されているようでありまして、政権与党に返り咲いた自民党に求められるものは、今日行き詰まった日本の多くの諸問題解決であり、参院のねじれ現象の中、決める政治、あるいはうそをつかない政治、あるいは復古が許されない政治、そして沖縄問題、尖閣、竹島、北方領土、拉致問題と国益を伴う外交と、日本の平和主義を引き続き進めながらの強い外交をどう実現するか。早速頑張っていたきたいところであり、今後の安倍政権のかじ取りに大きな期待を寄せたいと思っております。

そういうことで、本年も残りわずかな時期、こういった選挙等を通して非常に忙しい状況でもありましたが、町においては現在予算ヒアリングの真っ最中でありまして。さきの一般質問を通し、また一般質疑を通しての貴重なご意見を十分参考にしながら、25年度の予算を詰めてまいりたいと思っております。

新年に向かひまして、暮れ残り少なく、日増しに多忙となるわけでありまして、寒さも厳しさを増す中、議員各位には十分体調に留意されご活躍のもと、輝かしい新年をお迎えになられますよう心からお祈り申し上げ、12月第4回定例会閉会のお礼の挨拶といたします。

大変お世話になりました、ありがとうございました。

---

#### ○閉会の宣告

○議長（野中嘉之君） 以上をもちまして平成24年第4回板倉町議会定例会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

閉 会 （午後 1時38分）

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを確認し、ここに署名する。

平成25年1月29日

板倉町議会議長 野 中 嘉 之

①署名議員 秋 山 豊 子

②署名議員 荻 野 美 友